マルチメディア
ユーザ ガイド

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2008 年 4 月

製品番号：486479-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1　マルチメディア機能

お使いのコンピュータには、音楽を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。お使いのコンピュータには、以下のマルチメディア コンポーネントが含まれています。

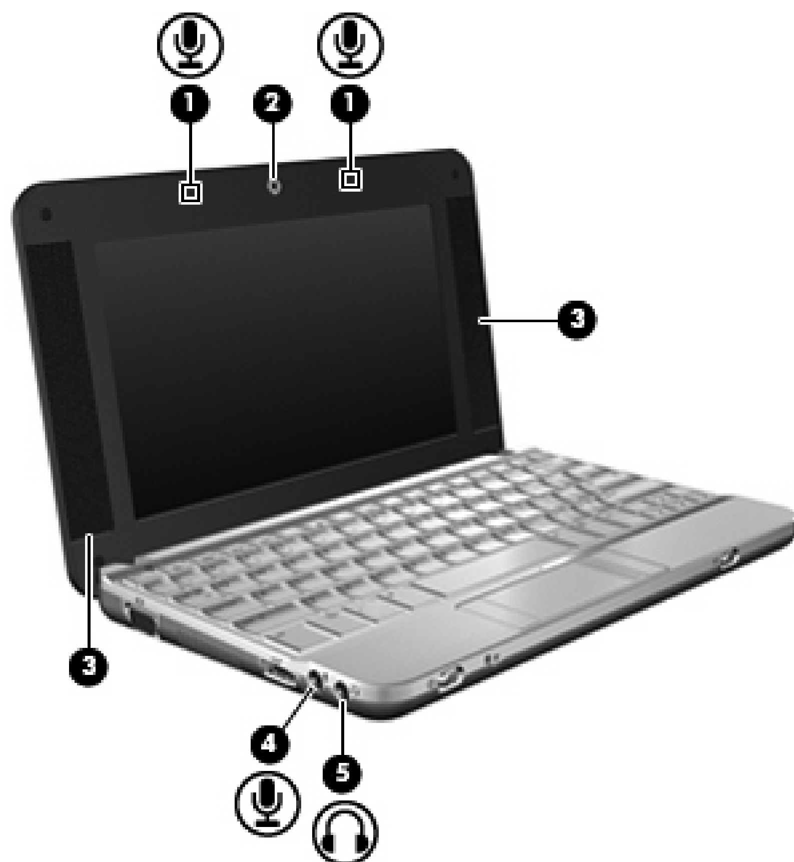
- 音楽を再生する内蔵スピーカ
- 独自のオーディオを録音する内蔵マイク
- サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりできる内蔵 Web カメラ（一部のモデルのみ）
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- ボリューム コントロールに関する操作をすばやく行うことのできるホットキー

注記：　お使いのコンピュータによっては、上記の一覧に記載されているすべてのコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピュータに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの確認

以下の図と表で、コンピュータのマルチメディア機能について説明します。

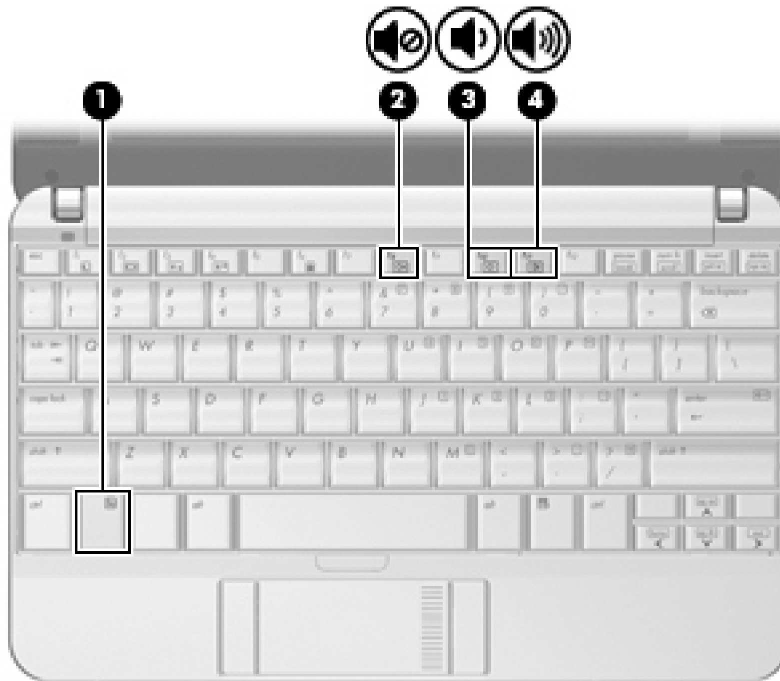


名称		説明
(1)	内蔵マイク（×2）	サウンドを録音します
(2)	Web カメラ（一部のモデルのみ）	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(3)	スピーカ（×2）	サウンドを出力します
(4)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(5)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを接続したときに、サウンドを出力します **注記：** ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピュータのスピーカは無効になります

音量の調整

音量の調整には、以下のオプションのどれかを使用できます。

- コンピュータの音量ホットキー：fn キー（**1**）と、f8（**2**）、f10（**3**）、f11（**4**）のどれかのファンクション キーとの組み合わせです。



  - 音を消したり音量を元に戻したりするには、fn ＋ f8 を押します。
  - 音量を下げるには、fn ＋ f10 を押します。
  - 音量を上げるには、fn ＋ f11 を押します。

- オペレーティング システムのボリューム コントロール：

  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[Volume]**（音量）アイコンをダブルクリックします。

  b. 音量を調整するには、スライダを上下に動かします。スライダの下にある**[Mute]**（ミュート）アイコンをクリックすると、音が出なくなります。

- プログラムの音量調整機能

  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

2　マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピュータには、音楽を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの詳細およびディスクからのインストール方法について説明します。

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアを確認するには、**[Computer]**（コンピュータ）→**[More Applications]**（アプリケーション）の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。

注記：　サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

注記：　ディスクからマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、外付けオプティカル ドライブがコンピュータに接続されている必要があります。 コンピュータの左側面に、電源供給機能付き USB コネクタが 1 つあります。このコネクタに電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、外付けオプティカル ドライブに電源を供給できます。外付けオプティカル ドライブをコンピュータの他の USB コネクタに接続する場合は、マルチベイに外部電源を接続する必要があります。

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクを外付けオプティカル ドライブに挿入します。
2. ソフトウェアの説明に沿って操作します。
3. コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

注記：　コンピュータに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

3 オーディオ

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピュータのスピーカおよび接続した外付けスピーカを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続された外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）または FM ラジオ信号の受信
- 外付けオプティカル ドライブを使用したオーディオ CD の作成（書き込み）

外付けオーディオ デバイスの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外部スピーカ、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。良好な結果を得るため、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピュータの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピュータの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要な任意のドライバをインストールします。

注記： ドライバは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバータとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピュータのシステム サウンドを確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[Computer]**（コンピュータ）→**[Control Center]**（コントロール センター）の順に選択します。
2. **[Sound]**（サウンド）をクリックします。
3. [Sound]ウィンドウが開いたら、**[Sound]**タブをクリックします。
4. **[System Sounds]**（システム サウンド）でサウンドを聞くイベントを選択します。
5. 一覧からサウンドを選択し、イベントの右にある**[Sound]**（サウンド）アイコンをクリックします。

スピーカまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピュータの録音機能を確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[Computer]**（コンピュータ）→**[More Applications]**（アプリケーション）→**[Sound Recorder]**（サウンド レコーダー）の順に選択します。
2. **[Record]**（録音）をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. サウンドを再生するには、**[Computer]**（コンピュータ）→**[More Applications]**（アプリケーション）の順に選択します。
4. **[Helix Banshee]**などのオーディオ プレーヤを起動して、サウンドを再生します。

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

▲ コンピュータのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[Sound]**（サウンド）アイコンを右クリックします。

4 ビデオ

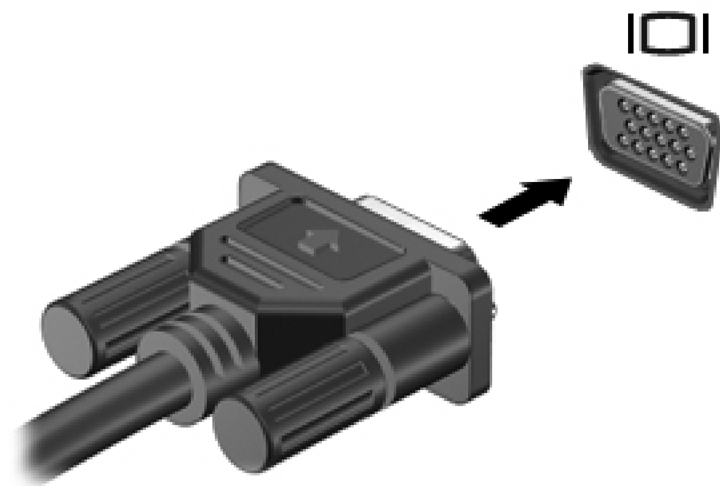
お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなビデオ機能を使用できます。

- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーション作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニタまたはプロジェクタの接続

外付けモニタ コネクタは、外付けモニタやプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピュータに接続するためのコネクタです。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイス ケーブルを外付けモニタ コネクタに接続します。



注記： 外付けディスプレイ デバイスを正しく接続しても画面が表示されない場合は、fn ＋ f2 キーを押して、ディスプレイ デバイスに画面を切り替えます。fn ＋ f2 キーを繰り返し押すと、コンピュータ ディスプレイとデバイスとで表示画面が切り替わります。

5　オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）

お使いのコンピュータには、コンピュータの機能を拡張する外付けオプティカル ドライブが搭載されている場合があります。外付けオプティカル ドライブを使用すると、データ ディスクの読み取りや、サウンド ファイルや動画ファイルの再生が可能になります。

外付けオプティカル ドライブの確認

[Computer]（コンピュータ）→**[View]**（表示）の順に選択し、**[Status]**（ステータス）の下を確認します。

接続されている外付けオプティカル デバイスを含む、お使いのコンピュータにインストールされているすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- DVD-ROM ドライブ
- DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ
- DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ（2 層記録対応）

注記：　上記に示すドライブによっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。

オプティカル ディスクの使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

外付けオプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD のディスクの読み取りができます。

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができる場合もあります。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD+R DL への書き込み
DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ	可	可	不可
DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ（2 層記録対応）	可	可	可

注意： オーディオやビデオの劣化や情報の損失、またはオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスクの選択

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。デジタル データの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD は主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップ用に使用されます。DVD は CD と同じ形式の要素ですが、容量は 6 ～ 7 倍になります。

注記： お使いのコンピュータに接続されている外付けオプティカル ドライブによっては、ここで説明しているすべての種類のオプティカル ディスクをサポートしていない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R（一度だけ書き込み可能）ディスクは、永続的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の方法で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピュータのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要のあるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の方法で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

空の DVD±R ディスクは、大量の情報を永続的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD+RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最適です。

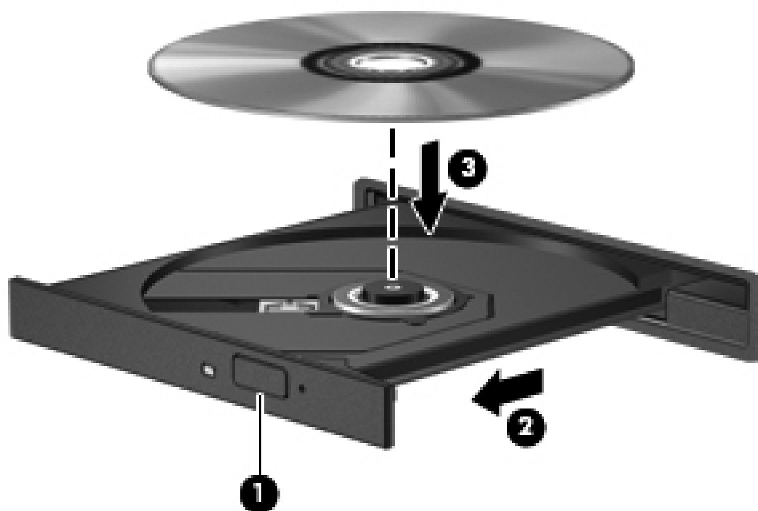
音楽の再生

注記： 以下の手順を開始する前に、外付けオプティカル ドライブがコンピュータに接続されていることを確認します。

1. コンピュータの電源を入れます。
2. 外付けオプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

   注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。



6. ディスク トレイを閉じます。
7. **[Computer]**（コンピュータ）→**[More Applications]**（アプリケーション）の順に選択します。
8. **[Helix Banshee]**などのオーディオ プレーヤを起動して、ディスクを再生します。

注記： ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを開始した場合、次のことが発生します。

- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックします。
- CD または DVD を再起動し、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

動画の再生

外付けオプティカル ドライブから動画を再生するには、ソフトウェアを別途入手する必要があります（製品には付属していません）。

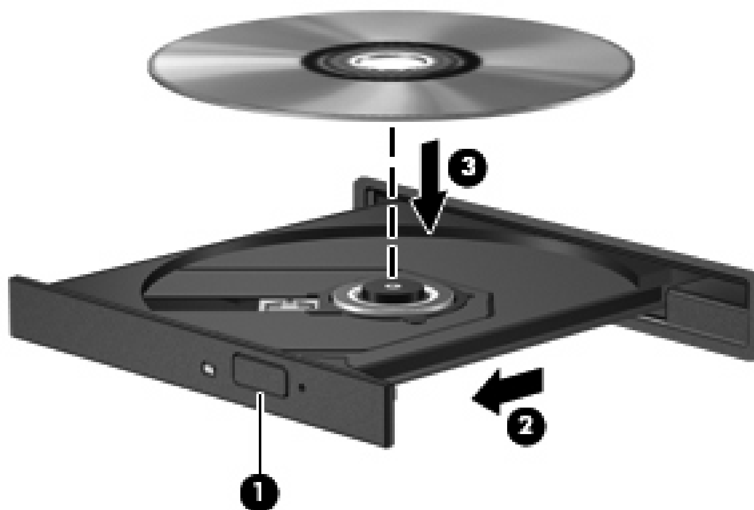
△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしに使用することは、著作権法に違反する行為です。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

注記： 以下の手順を開始する前に、外付けオプティカル ドライブがコンピュータに接続されていることを確認します。

1. コンピュータの電源を入れます。
2. 外付けオプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

   注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。



6. ディスク トレイを閉じます。

注記： ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

CD および DVD の作成または「書き込み」

外付けオプティカル ドライブが CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブである場合は、ソフトウェアを使用してデータ、オーディオ、および動画のファイルを書き込むことができます。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインに従ってください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- CD-R や DVD-R は、情報をコピーした後は変更できないため、通常はオーディオ ファイルの書き込みに最適です。
- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- CD-RW や DVD-RW は、一般的にはデータ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録をテストする場合に最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、お買い上げの DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。

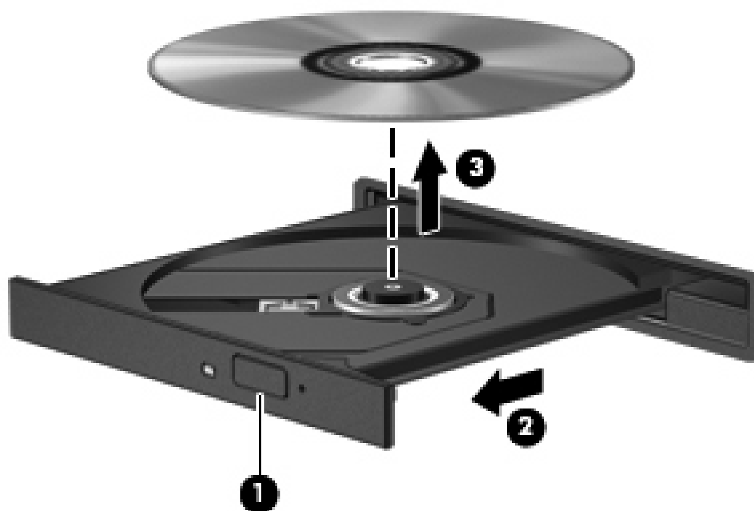
CD または DVD の書き込みの詳細な手順については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

オプティカル ディスク（CD または DVD）の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。



3. ディスク トレイを閉じ、ディスクを保護ケースに入れます。

6 Web カメラ（一部のモデルのみ）

一部のモデルのコンピュータでは、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。さまざまなソフトウェアと共にこの Web カメラを使用すると、以下のような機能を使用できます。

- 動画のキャプチャ
- インスタント メッセージ ソフトウェアを使用したビデオのストリーミング
- 静止画像の撮影

注記： 内蔵 Web カメラを使用するために設計されているソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

注記： 内蔵 Web カメラを使用するために設計されているソフトウェアの使用方法については、それぞれのソフトウェアのヘルプを参照してください。

パフォーマンスを最適にするために、内蔵 Web カメラの使用時は以下のガイドラインに従ってください。

- ビデオ チャットを行う前に、インスタント メッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- お使いのネットワーク ファイアウォールによっては、Web カメラが正しく動作しない場合があります。

  注記： 動画を閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザへ動画を送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を永久に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。詳しくは、IT 部門のネットワーク管理者に問い合わせてください。

- 可能な限り、カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

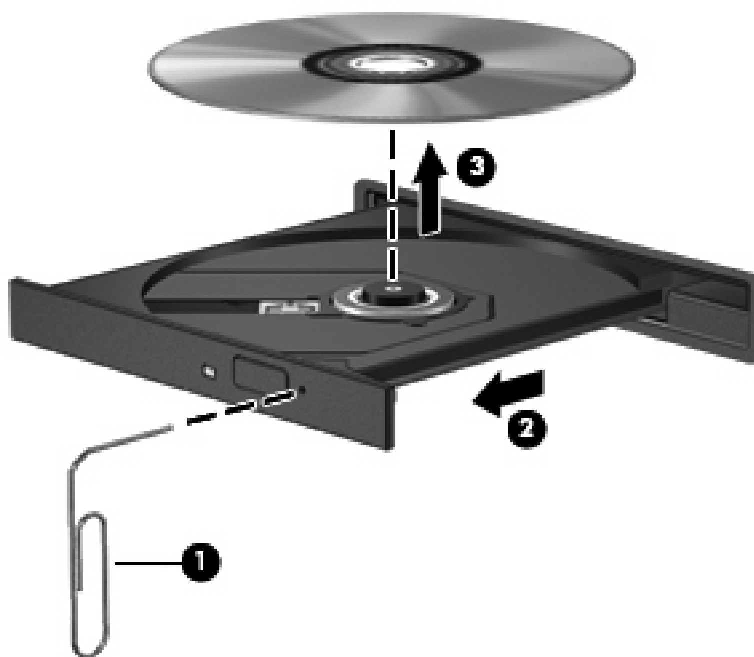
7 トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD または DVD を取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。



4. ディスク トレイを閉じ、ディスクを保護ケースに入れます。

ディスクが再生されない場合

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認してください。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクは中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、多くの電器店で入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで手入れしてください。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。開始する場合、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると次のようになります。

  - 再生が再開します。

  または

  - マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動が必要になることもあります。
- システムのリソースを増やします。

  プリンタとスキャナの電源を切り、別売の外付けカメラと携帯電話デバイスの電源ケーブルを抜きます。これらのプラグ アンド プレイ デバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。

DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
  - インターネットからログオフします。
  - プリンタ、スキャナ、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

索引